

2011.03.05

2011.03.05.

産業経済

[東日ニュース] News&amp;Topics

## 植物工場の今後考える

経済産業省中部経済産業局が主催する「植物工場フォーラム 2011—東三河地域における植物工場の未来を描く—」が4日、豊橋商工会議所で開かれ、県内外から、農業関係者をはじめ新規参入を目指す企業関係者など約170人が参加。新たなビジネスチャンスをつかまようと、講演やパネルディスカッションを熱心に聞き入った。

最初に基調講演として、NPO法人イノブックスの藤本真将代表理事が「技術革新が進む植物工場の市場可能性と経営戦略」をテーマに、国内外の事例を紹介しながら、今後の植物工場ビジネスを展望した。



新たなビジネスモデルを提案する藤本氏

まず、植物工場の現状について、成功事例を示しながら「赤字6割、収支均衝3割、黒字は1割」と説明。黒字化までに時間がかかることを示した。

今後は「レタスなどの大規模工場は淘汰(とうた)が進む」と予測。「葉野菜から、医菜・漢方向け植物や高機能野菜にシフトしていきたくらう」との見通しを語った。さらに新たなビジネスモデルとして、体験型・エンターテインメント性のある店舗併設型工場、廃校の利用、メディカルハーブの生産などの提案を行った。

その後、サイエンス・クリエイトの中野和久専務がコーディネーターとなり、パネルディスカッションに移った。イシグロ農材の石黒功社長、信州サラダガーデンの小林豊代表取締役、アグリポピュレーションジャパンの山根正義代表取締役、豊橋温室園芸農業協同組合の横島弘光組合長に藤本氏が加わり、今後の課題や方向性について意見を交わした。会場からも発言が出るなど、あらためてこの分野への高い関心ぶりを示した。(石川正司)

- ▶ [貴重な「整状集骨葬」跡出土](#)
- ▶ [アルミ缶蓋を取りに待った](#)
- ▶ [5日に「感謝デー」](#)
- ▶ [豊橋で留学生意見交換会](#)
- ▶ [植物工場の今後考える](#)
- ▶ [猫を主人公に創作童話](#)
- ▶ [郷土芸術家の四人展](#)

記事検索


[2011年03月04日の記事](#)
[2011年03月03日の記事](#)
[記事検索へ](#)
連載  
コーナー

- [東日評論](#)
- [東三河の力](#)
- [人に歴史あり](#)
- [クローズUP](#)
- [人](#)
- [熱中](#)
- [アーティストに会いたい](#)
- [くらし](#)
- [お訪ねしました](#)
- [先生](#)
- [ちょっと言わせて!](#)
- [いごこちE空間](#)
- [行ってみたいお店](#)
- [本\(書評\)](#)
- [特別企画連載](#)